

## 第2回明専スクールを終えて

生命体工学研究科生体機能専攻M2 御手洗 誠



平成24年10月20日および11月17、18日に戸畑キャンパスで第2回明専スクールが開催されました。

明専スクールは就職を控える修士2年生を対象にした勉強会です。開催日が休日ということもあり、本学の学生であつても知らない人がほとんどだと思えます。しかし、3日間という短い期間の中で得られる情報は非常に新鮮で、大変価値あるものでした。将来、社会人として生活していくうえで大きな糧になったと感じています。

今回の明専スクールで自分が学んだことや経験したこと、感じたことをこの機会に少しでも知っていただ

き、興味を持っていただきたいと思います。

今回の明専スクールでは講演会とグループ討議が行われました。講演会では、九州工業大学建学の歴史から始まり、様々な企業で活躍しておられる先輩方の体験談から、「社会」で働くための心構えやノウハウを学びました。中でも、「期日を最優先にして、仕事の重みと進め方とのバランスを見極めること」や、「目標が決まればあらゆる手段を用いて必ず達成させる気概を持つこと」などは、学生時代には考えたことがなく、働くことへの厳しさを感じる一方で、社会人としての強さやたくましさのようなものを感じました。

また、今回から新たに導入された品質工学についての講演では、有名な「タグチメソッド」について、実践を交えて学びました。モノの機能からパラメータを設定するという方法や直行表の考え方は独特で、非常

に興味深いものでした。

グループ討議では、「企業における報告書の作成と発表のコツを体得すること」を目的として、参加者を3つのグループに分け、与えられたテーマに関して討議を行い、結論を出し発表し合いました。自分たちのグループは、「ものづくりについて考える」というテーマで、「ものづくりの本質」や、「ものづくりに携わる技術者の矜持」についてメンバーと熱い討議を交わしました。討議では、限られた時間の中でメンバー全員の方向性を合わせることに難しさを実感しました。「ものづくり」という漠然とした言葉をどう定義するか、他人を説得するためにどう論理立てて表現するかを試行錯誤していく中で、メンバーに対する協調性や配慮、気配りについて学ぶことが沢山ありました。発表をやり遂げた後に感じた達成感と、仲間との連帯感が強く心に残っています。

11月17日のグループ討議終了後は戸畑キャンパス内にある仙水荘で懇親会が行われました。大先輩の方々とテーブルを囲んでの懇親会は非常に緊張しましたが、プライベ

トや趣味の話で盛り上がるうちに自然と打ち解けていくことができました。懇親会を経て、先輩方との心の距離が縮まる実感を得たことは、自分にとって非常に貴重な体験だったと感じています。

もし、この記事を読んで明専スクールに興味をもった方は是非とも参加してください。明専スクールで得られる経験や知識はすぐに分らないことも多いですが、きっと将来への大きな糧になると思います。

最後になりましたが、この明専スクールを開催するにあたりまして御尽力いただいた明専会、大学関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



グループ討議メンバー